(傍線の部分は改正部分)

改正後

現 行

(定義)

第2 (略)

 $2 \sim 10$ (略)

- 11 この要綱において次のものは、植物(規則別表1の2に掲げる地域において栽培されたものを除く。)とみなす。
- (1) 規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供する少量のもの(以下「試験地下部」という。)
- (2) 規則別表1の2の6の項、9の項<u>及び11の項から14の項まで</u>に掲げる種子であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究及び品種特性試験の用途に供する少量のもの(以下「試験種子」という。)
- (3) 規則別表1の2の7の項、8の項<u>及び15の項</u>に掲げる生殖物であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝 資源研究の用途に供する少量のもの(以下「試験生植物」という。)

12

- (1)(略)
- (2) この要綱において「試験種子検査」とは、大臣許可手続により輸入 を許可された試験種子について、規則別表1の2の6の項、9の項 及び11の項から14の項までに掲げる検疫有害植物(検疫有害動植物 のうち有害植物であるもの。以下同じ。)の付着の有無を植物防疫官 が検査することをいうものとする。

(定義)

第2 (略)

 $2 \sim 10$ (略)

- 11 この要綱において次のものは、植物(規則別表1の2に掲げる地域において栽培されたものを除く。)とみなす。
- (1) 規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供する少量のもの(以下「試験地下部」という。)。
- (2) 規則別表1の2の6の項、9の項<u>から14の項まで及び16の項</u>に掲げる種子であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究及び品種特性試験の用途に供する少量のもの(以下「試験種子」という。)。
- (3) 規則別表1の2の7の項、8の項、15の項及び16の項に掲げる生殖物であって、これらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供する少量のもの(以下「試験生植物」という。)。

12

(1)(略)

(2) この要綱において「試験種子検査」とは、大臣許可手続により輸入 を許可された試験種子について、規則別表1の2の6の項、9の項 から14の項まで及び16の項に掲げる検疫有害植物(検疫有害動植物 のうち有害植物であるもの。以下同じ。)の付着の有無を植物防疫官 が検査することをいうものとする。 (3) この要綱において「試験生植物検査」とは、大臣許可手続により輸入を許可された試験生植物について、規則別表1の2の7の項、8の項<u>及び15の項</u>に掲げる検疫有害植物の付着の有無を植物防疫官が検査することをいうものとする。

13 (略)

(管理場所)

第5 (略)

2 (略)

3 別表1に掲げるA1、A2、B1の(1)、B1の(4)、B2、C1の(1)、C1の(4)、C2及びDグループに属する輸入禁止品については、申請者がその申請において2に規定する施設以外の施設等において管理したい旨申し出た場合であって、かつ、次の全てが満たされる場合にあっては、2の規定にかかわらず、申し出た当該施設等を管理場所とすることができる。

(1) • (2) (略)

4 (略)

(申請者の名義、所属等の変更届)

第16 (略)

2 第8の3により許可を受けた申請者が、許可を受けた管理場所以外の機関に転職、転勤等し、新たな所属機関で引き続き輸入許可を受けた輸入禁止品を使用し試験研究等を実施するため、申し出る場合の輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願(別記様式4の1)及び輸入禁止品輸入許可申請者の名義所属等変更届(別記様式5)の提出は、申出の必要が生じた日から2週間以内に、申請者の住所地又は管理場所を管轄する植物防疫所を経由して、農林水産大臣に対し行わせるものとする。

ただし、本項の届出は、輸入許可を受けた輸入禁止品が別表1に掲げるA3、B1の(2)、B1の(3)、C1の(2)グループ及びC

(3) この要綱において「試験生植物検査」とは、大臣許可手続により輸入を許可された試験生植物について、規則別表1の2の7の項、8の項、15の項及び16の項に掲げる検疫有害植物の付着の有無を植物防疫官が検査することをいうものとする。

13 (略)

(管理場所)

第5 (略)

2 (略)

3 別表1に掲げるA1、A2、B1の(1)、B1の(3)、B2、C1の(1)、C1の(4)、C2及びDグループに属する輸入禁止品については、申請者がその申請において2に規定する施設以外の施設等において管理したい旨申し出た場合であって、かつ、次の<u>すべて</u>が満たされる場合にあっては、2の規定にかかわらず、申し出た当該施設等を管理場所とすることができる。

(1) • (2) (略)

4 (略)

(申請者の名義、所属等の変更届)

第16 (略)

2 第8の3により許可を受けた申請者が、許可を受けた管理場所以外の機関に転職、転勤等し、新たな所属機関で引き続き輸入許可を受けた輸入禁止品を使用し試験研究等を実施するため、<u>申出る</u>場合の輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願(別記様式4の1)及び輸入禁止品輸入許可申請者の名義所属等変更届(別記様式5)の提出は、申出の必要が生じた日から2週間以内に、申請者の住所地又は管理場所を管轄する植物防疫所を経由して、農林水産大臣に対し行わせるものとする。

ただし、本項の届出は、輸入許可を受けた輸入禁止品が別表1に掲げるA3、B1の(2)、C1の(2)グループ及びC1の(3)グル

別表1 (第2の1、第3、第4、第5の3、第16の2、第21の2及び3関係)

輸入禁止品の区分

輸入禁止品のグループ

名		輸入禁止の対象
大区分	小区分	
A	1	(1)規則別表1の2に掲げる地域に生息する同表に掲げる植物(当該地域において栽培されたものを除く。)、規則別表2に掲げる輸入禁止品及び規則別表2の2に掲げる植物であって同表の基準に適合しないもののうち規則第14条に規定するもの(2)規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部並びに7の項、8の項及び15の項に掲げる生植物であってこれらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供するもののうち規則第14条に規定するもの
	2	 (1)規則別表1の2に掲げる地域に生息する同表に掲げる植物(当該地域において栽培されたものを除く。)、規則別表2に掲げる輸入禁止品及び規則別表2の2に掲げる植物であって同表の基準に適合しないもののうち1以外のもの (2)規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部並びに7の項、8の

ープ以外である場合に限り、なし得るものとする。

3 (略)

別表1 (第2の1、第3、第4、第5の3、第16の2、第21の2及び3関係)

輸入禁止品の区分

輸人禁止品	品の区分	
輸入禁止品	ログループ	
名		輸入禁止の対象
大区分	小区分	
A	1	(1)規則別表1の2に掲げる地域に生息する同表に掲げる植物(当該地域において栽培されたものを除く)、規則別表2に掲げる輸入禁止品及び規則別表2の2に掲げる植物であって同表の基準に適合しないもののうち規則第14条に規定するもの(2)規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部並びに7の項、8の項、15の項及び16の項に掲げる生植物であってこれらの項に掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供するもののうち規則第14条に規定するもの
	2	(1)規則別表1の2に掲げる地域に生息する同表に掲げる植物(当該地域において栽培されたものを除く)、規則別表2に掲げる輸入禁止品及び規則別表2の2に掲げる植物であって同表の基準に適合しないもののうち1以外のもの(2)規則別表1の2の1の項から5の項までに掲げる生植物の地下部並びに7の項、8の

		項 <u>及び15の項</u> に掲げる生植物であってこれ らの項に掲げる地域において栽培地検査を			項 <u>、15の項及び16の項</u> に掲げる生植物であってこれらの項に掲げる地域において栽培地
		受検せずに遺伝資源研究の用途に供するも ののうち1以外のもの			検査を受検せずに遺伝資源研究の用途に供 するもののうち1以外のもの
	0	規則別表1の2の6の項、9の項 <u>及び11の項か</u>		2	規則別表1の2の6の項、9の項から14の項ま
	3	<u>ら14の項まで</u> に掲げる種子であってこれらの項に 掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝 変類研究及び具種性性計覧の用冷に供するよの		3	で及び16の項に掲げる種子であってこれらの項に 掲げる地域において栽培地検査を受検せずに遺伝 次源研究及び日類特性計験の円分に供するよの
		資源研究及び品種特性試験の用途に供するもの (1)・(2)(略) (3)規則別表2の2に掲げる検疫有害動物			資源研究及び品種特性試験の用途に供するもの (1)・(2)(略) (新設)
	1	(4) 我が国未発生の検疫有害動物であって、規 則別表1の2 <u>別表2及び別表2の2</u> に掲		1	(3) 我が国未発生の検疫有害動物であって、規 則別表1の2 <u>及び別表2</u> に掲げる検疫有害
В		げる検疫有害動物に次いでその侵入を警戒 しているもの (5) 我が国去な生の検察有害動物でなって、計	В		動物に次いでその侵入を警戒しているもの (4) 我が国去び生の投資有害動物でなって、計
		(5) 我が国未発生の検疫有害動物であって、試験を実施するに <u>当たって</u> 、分散防止の管理が非常に難しいもの			(4) 我が国未発生の検疫有害動物であって、試験を実施するに <u>あたって</u> 、分散防止の管理が非常に難しいもの
	(略)	(略)		(略)	(略)
		(1)規則別表1の2に掲げる検疫有害植物(栽培地検査要求対象有害植物)(同表の7の項			(1)規則別表1の2に掲げる検疫有害植物(栽培地検査要求対象有害植物)(同表の7の項 <u>、</u>
С	1	<u>及び8の項</u> に掲げる検疫有害植物を除く。)	С	1	<u>8 の項及び16の項</u> に掲げる検疫有害植物を 除く。)
		(2) ~ (4) (略)			(2)~(4)(略)
		(5) 我が国未発生の検疫有害植物であって、試験を実施するに当たって、分散防止の管理			(5) 我が国未発生の検疫有害植物であって、試験を実施するにあたって、分散防止の管理
		が非常に難しいもの			が非常に難しいもの
	(略)	(略)		(略)	(略)
(略)		(略)	(略)		(略)

別表9 (第19の3関係)

遺伝資源に対する検査の方法

別表9 (第19の3関係)

遺伝資源に対する検査の方法

	Т	ı	T	ı		T	1		T	ı	T				1
区分	輸入禁止	試験研	対象検疫有害	検査	検査	検査方法	摘要	区分	輸入禁止	試験研	対象検疫有害	検査	検査	検査方法	<u>摘</u>
	植物の種	究等の	動植物	場所	すべ				植物の種	究等の	動植物	場所	すべ		<u>要</u>
	類	過程で			き数				類	過程で			き数		
		生成さ			量					生成さ			量		
		れた植								れた植					
		物の部								物の部					
		分								分					
規則別	しょうが、	生塊茎	(略)	(略)	(略)	(略)		規則別	しょうが、	生塊茎	(略)	(略)	(略)	(略)	
表 1 の	ばれいし	等の地						表 1 の	ばれいし	等の地					
2 に掲	よ等の生	下部 •	インゲンマメ	許可	全量	栽培中に		2 に掲	よ等の生	下部 •	インゲンマメ	許可	全量	栽培中に	
げる植	塊茎等の	茎葉	萎ちょう細菌	を受		病徴観察		げる植	塊茎等の	茎葉	萎ちょう細菌	を受		病徴観察	
物(規	地下部及		病菌	けた		等を実施		物(規	地下部及		病菌	けた		等を実施	
則別表	びいんげ		エンドウ萎ち	施設		する。		則別表	びいんげ		エンドウ萎ち	施 設		する。	
1 0 2	んまめ、		よう病菌	及び				1 0 2	んまめ、		よう病菌	及び			
に掲げ	テオシン		トウモロコシ	植物				に掲げ	テオシン		スイカ果実汚	植物			
る地域	ト、とう		萎ちょう細菌	防疫				る地域	ト、とう		斑細菌病菌	防疫			
におい	もろこし		病菌	所 検				におい	もろこし <u>、</u>		トウモロコシ	所 検			
て栽培	等の種子		トウモロコシ	定室				て栽培	トマト、		萎ちょう細菌	定室			
された			葉枯細菌病菌					された	ばれいし		病菌他				
ものを			他					ものを	よ等の種						
<u>除く。</u>)								除く)	子						
			(削る。)	(削	(削	(削る。)					ジャガイモや	許 可	<u>全量</u>	栽培中に	
				る。)	る。)						せいもウイロ	を受		病徴観察	
											<u>イド</u>	<u>けた</u>		<u>及 び</u>	
												施設		RT-PCR	

(田	洛)	(略)	(略)	(略)	
萎病エよト萎病ト	ンドウ萎ち う病菌 ウモロコシ ちょう細菌	をけ施及植防所受た設び物疫検		栽っている。おります。までは、おります。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。	
(#		(削 る。)	(削 る。)	(削る。)	

		及植 <u>防</u> 度 <u>所</u> 定		<u>等を実施</u> <u>する。</u>	
	(略)	(略)	(略)	(略)	
種子	イ萎病エよス斑ト萎病から がまり がっかり がったり がったり がったり がいる 大変	をけ施及植防所受た設び物疫検	全量	栽培徴実をする。	
	<u>ジャガイモや</u> <u>せいもウイロ</u> <u>イド</u>	,	全量	栽培中に 病徴観察 及び RT-PCR 等を実施 する。	

			(略)	(略)	(略)	(略)					(略)	(略)	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
	いんげん	茎葉等	インゲンマメ	許可	全量	栽培中に		規則別	いんげん	茎葉等	インゲンマメ	許可	全量	栽培中に	
	まめ、テ		萎ちょう細菌			病徴観察		表 1 の	まめ、テ		萎ちょう細菌	を受		病徴観察	
	オシント、		病菌	けた		等を実施			オシント、		病菌	けた		等を実施	
	とうもろ		エンドウ萎ち	隔離		する。		の項、	-		エンドウ萎ち	隔離		する。	
	こし等の		よう病菌	ほ場				9の項	こし <u>、ト</u>		ょう病菌	ほ場			
及び11	種子		トウモロコシ	及び				<u>から14</u>	マト、ば		スイカ果実汚	及び			
の項か			萎ちょう細菌	施設				の項ま	れいしょ		斑細菌病菌	施設			
<u> ら14の</u>			病菌	並び				で及び	等の種子		トウモロコシ	並び			
<u>項まで</u>			トウモロコシ	に植				16の項			萎ちょう細菌	に植			
に掲げ			葉枯細菌病菌	物防				に掲げ			病菌他	物防			
る植物			他	疫所				る植物				疫所			
であっ				検定				であっ				検定			
て栽培				室				て栽培				室			
地検査								地検査							
ができ			(削る。)	(削	(削	(削る。)		をがで			ジャガイモや	<u>許可</u>	<u>全量</u>	栽培中に	
<u>ない</u> 遺				る。)	る。)			きない			せいもウイロ	<u>を 受</u>		病徴観察	
伝 資 源								遺伝資			<u>イド</u>	<u>けた</u>		及 び	
研究及								源研究				施 設		RT-PCR	
び品種								及び品				<u>及び</u>		等を実施	
特性試								種特性				植物		<u>する。</u>	
験用途								試験用				<u>防 疫</u>			
の種子								途の種				<u>所 検</u>			
標本								子標本				定室			
			(略)	(略)	(略)	(略)					(略)	(略)	(略)	(略)	
			(略)	(略)	(略)	(略)					(略)	(略)	(略)	(略)	_

			エンドウ萎ち	をけ隔ほ及施並に物疫検室受た離場び設び植防所定		栽病等す (削・物質) (削りをある) (割りをある) (削りなる) (割りため) () (割りため) () () () () () () () () () () () () ()				種子	イ萎病 エょス 斑ト萎病 ジゼインち菌 ンうイ細 ウち菌 マルド がまり アイウン がも アルド がも ガも オウカ オウカ オカ	をけ隔ほ及施並に物疫検室 許受た離場び設び植防所定 可	全量	栽病等す栽病及 RT等す培徴をる。中観 UPCR 実に察施に察 施	
			(略)	(略)	(略)	(略)					(略)	(略)	(略)	(略)	
規則別 ア 表 2 の し 2 に掲 ず げる植 <u>れ</u>	まほお "き <u>、ば</u>	茎葉等	<u>イチゴクチブ</u> トゾウムシ ジュウイチホ シウリハムシ	<u>防疫</u> 所の		中の植物 及び収穫	<u>栽培</u> 対象	表 2 の 2 に掲	アボカド、 しまほお ずき等の 生植物及		(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

物った あ同ま がでの あ同ま 値物等 を を で の を は を で の と で の と で の と で の と の と の と の り る り る り る り る の り る の り る の り る の の の の	<u>シロヘリクチ</u> <u>ブトゾウムシ</u> <u>テンサイヨコ</u> <u>バイ他</u>	にお		植物で、葉等では、動物のでは、ないのでは、ないのでは、動物のを検する。	<u>合</u>	物っま準合いもの	7属植				
	ジャガイモや せいもウイロ イド <u>Candidatus</u> <u>Liberibacter</u> <u>solanacearum</u>		全量	隔中観伝をる端に察子実。	同上			ジャガイモやせいもウイロイド Columnea latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid Tomato chlorotic dwarf viroid		隔中観伝をる離に察子実の強っない。	栽培 対象
	Pepino mosaic virus Spiroplasma citri Xylella fastidiosa	植防所隔ほに物疫の離場お	全量	隔 中 観 血 断 遺 出 強 徴 び 診 は 診	同上			Pepino mosaic virus	植防所隔ほに物疫の離場お	隔中観血断遺物のでは、	同上

	け 特 検 施設		断を実施する。	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
イチゴクチブ トゾウムシ ジュウイチホ シウリハムシ シロヘリクチ ブトゾウムシ テンサイヨコ バイ他	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	<u>全量</u>	栽植物で変える。地域の大きのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般である。では、一般では、一般である。	栽培 対象
ジャガイモや せいもウイロ イド Columnea latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid <u>他</u>	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	全量	栽培観察、遺伝子 を まる。	二

	け特検施		断を実施する。				け特検施		断を実施する。	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
イチゴクチブ トゾウムシ ジュウイチホ シウリハムシ シロヘリクチ ブトゾウムシ テンサイヨコ バイ他	を受	全量	栽培物では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地では、土地	裁 対 外 の 植 物 の 場	茎葉等	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(
ジャガイモや せいもウイロ イド Columnea latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid <u>他</u>		全量	栽培観察、遺断をおる。	同上		ジャガイモや せいもウイロ イド Columnea latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid Tomato			栽培観子を 遺伝を実 する。	<u>栽培</u> 対象

	Pepino mosaic virus Pseudomonas syringae pv. actinidiae biovar3 Spiroplasma citri Xylella fastidiosa 他	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	全量	栽病及学又子実中観血断遺断する。	同上
	(略) Ophiostoma novo-ulmi subsp. novo-ulmi	(略) 許をけ施及植防所定	(略) 全量	(略) <u>栽培中に 病徴観察</u> 等を実施 する。	(略)
組織培養体· 茎頂等	ジャガイモや せいもウイロ イド <u>Candidatus</u>	植物 防変 所 陥		隔離栽培 中に病徴 観察、遺 伝子診断	<u>栽培</u> 対象

<u>chlorotic</u> <u>dwarf viroid</u>				
Pepino mosaic virus	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	全量	栽病及学又子実中観血断遺断する。	回上
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
ジャガイモや せいもウイロ イド <u>Columnea</u>			<u>栽培</u> 中に 病徴観察、 遺伝子診 断を実施	

<u>Liberibacter</u> <u>solanacearum</u>	ほにけ特検施		を 実施 す る。	<u>物の</u> 場合
Pepino mosaic virus Spiroplasma citri Xylella fastidiosa	植防所隔ほにけ特検施物疫の離場おる定定設	全量	隔中観血断遺断す岩 徴び診は診施	同上
その他の検疫有害動植物	植防所隔ほにけ特検物度の離場おる定定	全量	隔離栽培 中に病後 観察を実 施する。	同上

latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid Tomato chlorotic dwarf viroid	及植防所定		する。	
Pepino mosaic virus	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	全量	栽病及学又子実中観血断遺断する。	
その他の検疫有害動植物	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	全量	<u>栽培</u> 中に 病徴観を を る。	(新設)

	施設			
ジャガイモや せいもウイロ イド Columnea latent viroid Mexican papita viroid Tomato apical stunt viroid 他	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	<u>全</u> 量	栽培中に 病徴観察、 遺伝子診 断を実施 する。	隔栽対外植の合
Pepino mosaic virus Pseudomonas syringae pv. actinidiae biovar3 Spiroplasma citri Xylella fastidiosa 他	許をけ施及植防所定可受た設び物疫検室	<u>全量</u>	栽培 観察 及び 断遺 と 子診 する。	同上
その他の検疫 有害動植物	許をけ施及植物	<u>全量</u>	栽培中に 病徴観察 を実施す る。	同上

(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

		<u>防 疫</u> <u>所 検</u> 定室									
<u>n</u>	ovo-ulmi ubsp. ovo-ulmi	許をけ施及植防所		<u>栽培中に</u> 病徴観察 等を実施 する。			(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	
	ジャガイモや			栽培中に			ジャガイモや			栽培中に	
1 2	スイカ果実汚	けた		病徴観察、 遺伝子診 断を実施 する。			せいもウイロ イド	をけ施及		病徴観察、 遺伝子診 断を実施 する。	
<u>C</u> <u>la</u> <u>P</u>	Columnea atent viroid Pepino	植物 防疫 所検		9 3 °				植物 防疫 所 検		9 Do	
<u>(1</u>	nosaic virus 也 (略)	定室 (略)	(略)	(略)			(略)	定室 (略)	(略)	(略)	

別表10 (第19の3関係) 試験種子の検査の方法

1 栽培中の植物に対する検査方法

別表10 (第19の3関係) 試験種子の検査の方法

1 栽培中の植物に対する検査方法

対象植物	対象検疫有害動植物	検査時期	着眼すべき病徴	摘要	対象植物	対象検疫有害動植物	検査時期	着眼すべき病徴	摘要
(略)	(略)	(略)	(略)	1 検査は、	(略)	(略)	(略)	(略)	1 検査は、
				は種されて					は種されて
(削る。	(削る。)	(削る。	(削る。)	いる全量・	<u>すいかの</u>	スイカ果実汚斑細菌	結実から	(1) 果実表	いる全量・
				毎個につい	<u>種子</u>	病菌	収穫まで	面の小さ	毎個につい
				て行う。	とうがん		の間	な水浸状	て行う。
				2 着眼すべ	の種子			斑、それ	2 着眼すべ
				き病徴欄に	メロンの			<u>らが拡大</u>	き病徴欄に
				掲げる症状	<u>種子</u>			した、境	掲げる症状
				が認められ				界が不明	が認められ
				た場合は、				瞭、不規	た場合は、
				2に掲げる				則な濃緑	2に掲げる
				検定室等に				色水浸状	検定室等に
				おける検査				<u>斑</u>	おける検査
				を実施する。				(2) 上記変	を実施する。
				3 不発芽種				色病斑部	3 不発芽種
				子がある場				の中心部	子がある場
				合は、当該				のひびわ	合は、当該
				種子を掘り				<u>h</u>	種子を掘り
				取って原因				(3) 果実の	取って原因
				を調査する。				腐敗等	を調査する。
				4 そらまめ					4 そらまめ
(略)	(略)	(略)	(略)	の検査に当	(略)	(略)	(略)	(略)	の検査に当
				たっては、					たっては、
(削る。	(削る。)	(削る。	(削る。)	高温期にモ		ジャガイモやせいも	展葉期か	(1) 頂葉が	高温期にモ
				ザイク症状	<u>種子</u>	<u>ウイロイド</u>	ら収穫ま	退緑し上	ザイク症状
				が見にくい			での間	<u> 方に向く</u>	が見にくい
				ので注意す				(2)葉の赤	ので注意す

				る。 (削る。)			色化又は 紫色化(3)葉の小型化、縮 葉(4)葉脈の エソ 	る。 5 <u>ウイロイ</u> ドの病徴は、 高温時に出 やすいので、 検査は高温 期に実施す る。
(削る。	(削る。)	(削る。	(削る。)		<u>ジャガイモやせいも</u> <u>ウイロイド</u>	展業期か ら収穫ま での間	(1) 葉が上 方に南の直 立 (2) 葉の小 型と(3) が (3) が (4) が (4) が (5) が (5) が (5) が (5) が (6) が (6) が (6) が (7) も (7) も (7) も (8) が (7) も (8) が (1) が (1	

2 検定室等における検査方法

2 検定室等における検査方法

対象植物	対象検疫有害動植物	検査の方法	対象植物	対象検疫有害動植物	検査の方法
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(削る。)	(削る。)	(削る。)	<u>すいかの種子</u> とうがんの種 子 メロンの種子	スイカ果実汚斑細菌病菌	培養検査
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(削る。)	(削る。)	(削る。)	トマトの種子 ばれいしょの 種子	ジャガイモやせいもウイロイド	接種検定、遺伝子診断 法(RT-PCR 法、リア ルタイム PCR 法、 RT-LAMP 法等)によ る検定

注 この表に掲げる検査は、1の栽培地における検査において病徴が認められたものについて実施するものとする。

注 この表に掲げる検査は、1の栽培地における検査において病徴が認められたものについて実施するものとする。<u>ただし、トマト及びばれいしょの種子については、</u>病徴の有無に関わらず遺伝子診断法による検定を実施するものとする。